



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2017

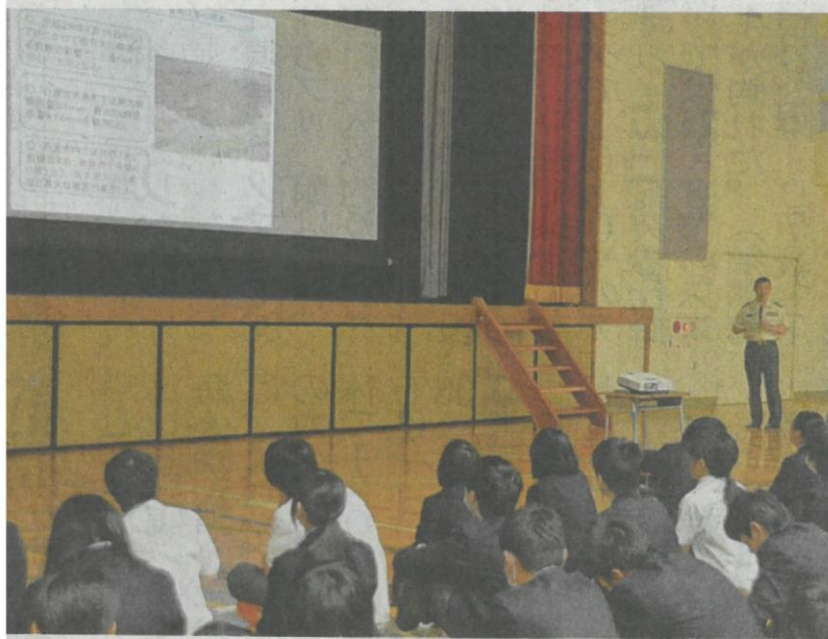
毎日新聞 平成29年5月26日(金)

災害時 高校生の力を

氷上西高 自衛隊員が講演

県立氷上西高校（14人）で25日、講演会「災害時における高校生の役割」が開かれた。講師を務めた自衛隊兵庫地方協力本部の六車昌晃（むつら まこと）本部長は「災害時の避難所で高校生は配食や救援物資の整理・配布、お年寄りへの声かけや話を聞くボランティアなどができる。高校生の活動が避難所生活を変えらる」と呼びかけた。

六車本部長は阪神大震災、東日本大震災、熊本地震などでの自衛隊の活動を紹介。「大規模災害では市役所なども被災し公助は期待できない。まず生き残るため自助と共助が重要。自衛隊などの救助活動が始まるまでは地域住民同士による安否確認や初期消火、救助が必要」と述べ、減災意識が訓練時から重要とした。



県立氷上西高校で開かれた講演会「災害時における高校生の役割」